

類似3科の図解区別一覧(p1)

(イグサ科 Juncaceae、カヤツリグサ科 Cyperaceae、イネ科 Poaceae)

単子葉類 葉は平行脈 花は目立たない風媒花



《イグサ科》

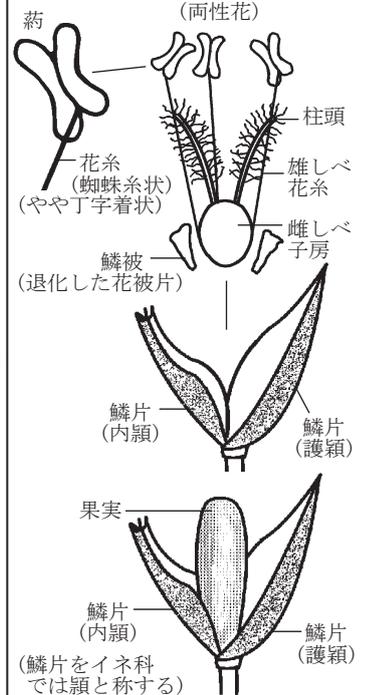
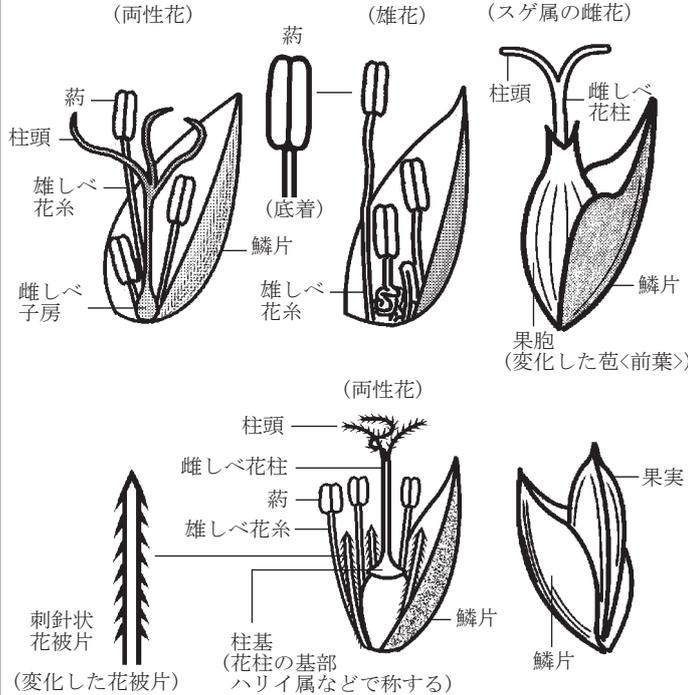
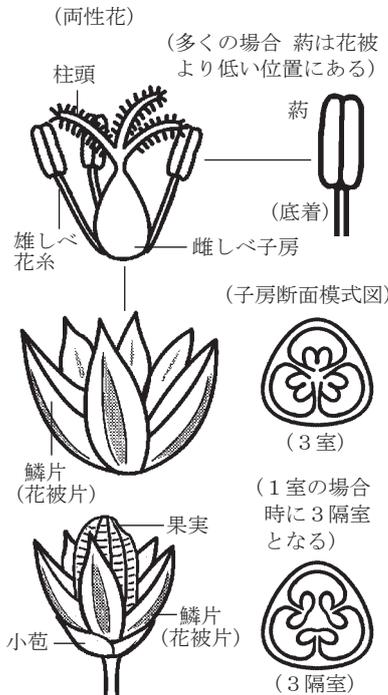
《カヤツリグサ科》

《イネ科》

花を6枚の鱗片が抱く

花を1枚の鱗片が抱く

花を2枚の鱗片が抱く



花被片が6枚ある

(内片3枚 外片3枚)

葯は底着し  
花被よりほぼ低い(注)

(イトイは花被より葯が抽出する)

柱頭は3本  
花柱は1本

子房は1室または3室

蒴果  
種子は3個か多数

《イグサ科》

花被は退化している

(花被は退化し 消失か 刺針状 稀に糸状や鱗片状)

葯は底着し  
鱗片より抽出する

柱頭は2~3本  
花柱は1本

子房は1室

瘦果  
種子は1個

《カヤツリグサ科》

花被は退化している

(花被は退化し 鱗被か 消失する)

葯はやや丁字着(注:解説)  
鱗片より抽出する

柱頭はほぼ2本(注:解説)  
花柱はほぼ2本(注:解説)

(少数種で花柱1本のものがあり、筆者採集のシロガネチカラシバは花柱・柱頭ともに1本であった)

子房は1室

穎果  
種子は1個

《イネ科》

類似3科の図解区別一覧(p2)

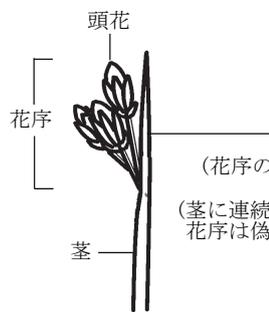
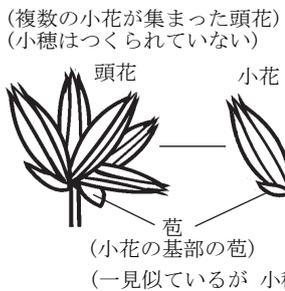
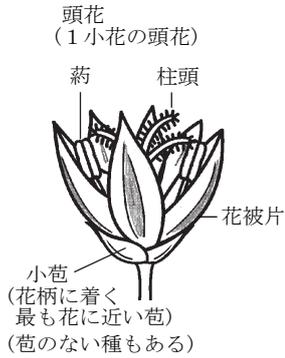
(イグサ科 Juncaceae、カヤツリグサ科 Cyperaceae、イネ科 Poaceae)

《イグサ科》

《カヤツリグサ科》

《イネ科》

小穂をつくらない

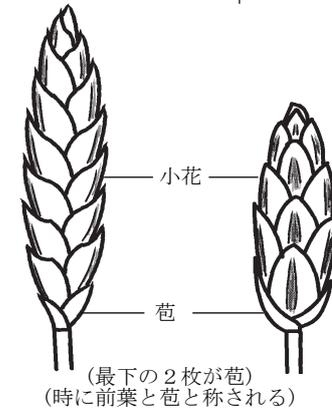


小穂をつくる

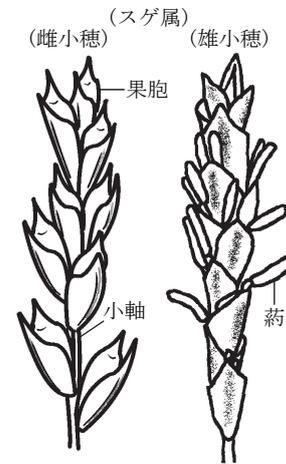
1本の縦軸(小軸)のまわりに、鱗片に抱かれた花(小花)を重ねたように並べた花の集団をつくる。この集団を小穂と称す。

(小花を小軸に2列につけるものと螺旋状につけるものがある)

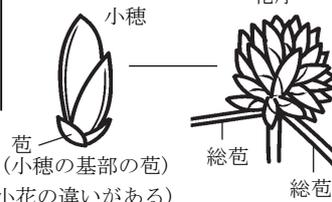
(小花2列生)



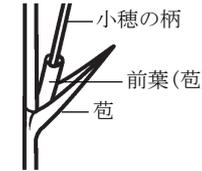
(小花螺旋生)



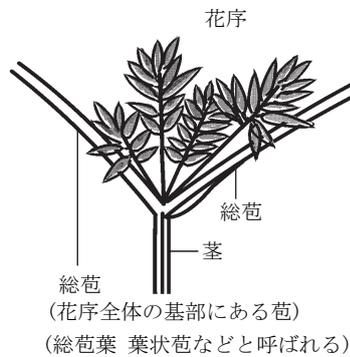
(複数の小穂が集まった頭状花序)



(スゲ属の小穂の柄の基部)

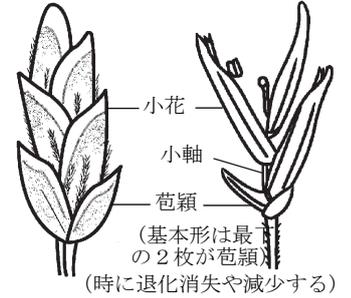


総苞 (花序の基部にある苞) (茎に連続して直立するため花序は偽側生すると称する)

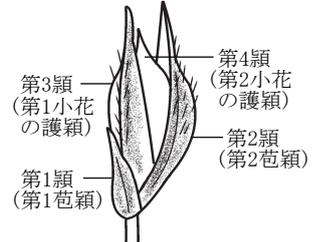


小穂をつくる

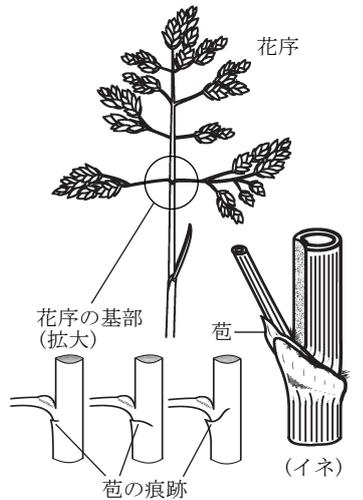
(小花を小軸に2列につける)



(第1小花が退化して1小花にみえる小穂の例:大井式呼称)



(イネ科の小穂は進化が多様で基本形から移行した様々な形状がある。基本形でない小穂は穎の呼び方を大井式で扱うのも理解しやすい)



総苞葉や茎状の苞をもつものがある (持たないないものもある)

(花や小穂や花序の基部には苞があり 科や属により呼称が異なる場合がある 特に花序全体の基部にあるものは「総苞」で 検索のキーとなる 葉状の場合は「総苞葉」と称される) (茎に連続して直立する場合 最下の苞と記す文献が多いが「総苞」である)

《イグサ科》

《カヤツリグサ科》

総苞葉などはない(注:解説)

(花序基部に一般的総苞葉はないが総苞の痕跡がみられる場合がある) (少数種で 葉鞘が発達した葉状総苞をもち 花序を包むものがある)

《イネ科》

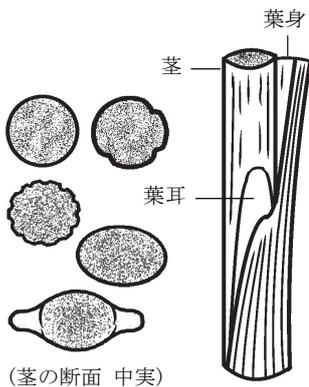
類似3科の図解区別一覧(p3)

(イグサ科 Juncaceae、カヤツリグサ科 Cyperaceae、イネ科 Poaceae)

《イグサ科》

《カヤツリグサ科》

《イネ科》



(茎の断面 中実)

(葉鞘の縁は イグサ属は離生  
スズメノヤリ属は合着する)

葉は2列互生

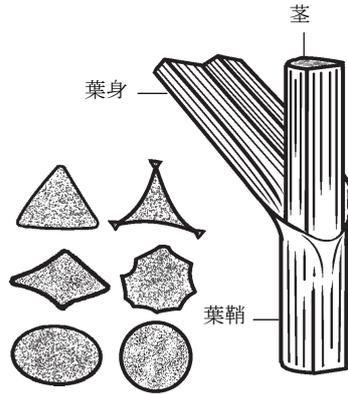
茎は中実  
断面は円形~2稜形

葉鞘がある

葉舌はない

葉耳をもつものがある

《イグサ科》



(茎の断面 中実)

(葉鞘がある場合 縁は合着する)

葉は多くは3列互生(注)

(ネビグサは2列生)

茎は中実(注)  
断面は円形~3角形

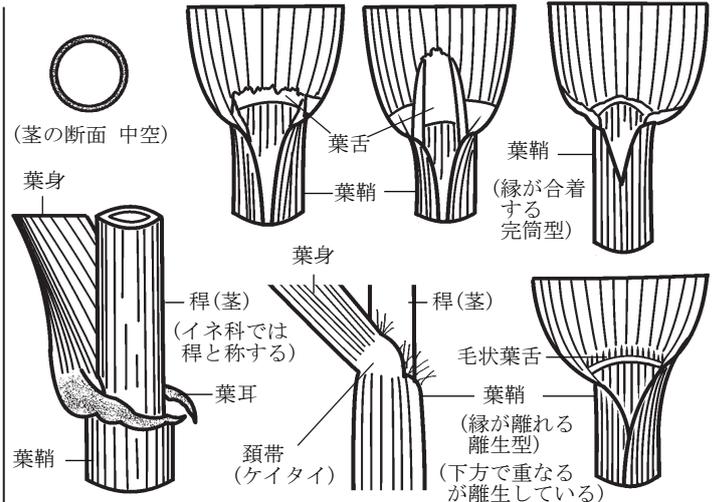
(オオヌマハリイ ヒトモトススキ  
は茎が中空)

葉鞘がないものもある

葉舌は目立たない(注:解説)

葉耳はない

《カヤツリグサ科》



(茎の断面 中空)

葉身

稈(茎)  
(イネ科では  
稈と称する)

葉鞘

葉耳

頸帯  
(ケイタイ)

毛状葉舌

葉鞘

葉は2列互生

稈(茎)は中空(注)  
断面は円形

(サトウキビ ダンチク トウモロコシなどは稈が中実)

葉鞘がある

(葉鞘の縁は普通離生するが 筒状に合着するものが  
イチゴツナギ亜科の一部少数種で見られる)

葉舌が目立つ(注:解説)

(ヒエ属 ヒナザサ属には葉舌がない)

葉耳をもつものがある

《イネ科》